

平成 27 年度第 2 回小動物臨床部会役員会 議事概要

日 時：平成 27 年 7 月 28 日（火）13：30～15：00

場 所：新潟県建設会館会議室

委 員：全委員 13 名中 12 名出席

監査員：2 名中 2 名出席

県 獣：副会長理事 1 名出席

1. 小嶋部会長あいさつおよび開会

2. 議 題

議長を小嶋部会長、書記を川島副部会長として議題に入った。

(1) 県民公開講座（第 2 回講習会）について

テーマ：いま、改めて災害時の動物救護について学ぼう

日時および会場は平成 27 年 10 月 25 日（日）13：30～16：30

万代シルバーホテル

司会進行および座長は鈴木正芳副部会長

開会あいさつ 1. 小嶋部会長 5 分以内

開会あいさつ 2. 楠原会長 5 分以内（欠席の場合は遠藤副会長）

楠原会長および遠藤副会長欠席の場合の開会あいさつは小嶋部会長のみ

閉会あいさつ 遠藤副会長（欠席の場合は鈴木副部会長）

内容

1. タイトル：「備えあれば憂い少なし」災害時、同行避難をするために

講師：阿部 俊範 先生（あべ動物病院・宮城県石巻市開業） 75 分

2. タイトル：中越大震災の経験を踏まえた行政としての災害時動物マネジメント

講師：遠山 潤 先生（新潟県動物愛護センター・新潟県） 30 分

3. タイトル：新潟県中越・中越沖地震からの教訓

講師：宮川 保 先生（宮川動物病院・新潟市開業） 30 分

4. パネルディスカッション

25 分

趣旨

新潟県獣医師会小動物臨床部会では、災害時の動物救護をテーマに県民公開講座を開催いたします。日本列島は災害列島ともいわれ、新潟地震をはじめ、近年ではナホトカ号からの原油の流失事故、県央地区の河川の氾濫、中越大震災、中越沖地震、そして全国に目を向ければ、東日本大震災や各地の火山の噴火、異常気象など挙げれば際限がありません。

“いざ”というときには、マニュアルどおりにはいかないということを承知しつつも、いつあるかわからない“いざ”というときのために、今回改めて、東日本大震災、中越大震災などから学んだことを今後にも起こるかも知れない災害に対して、『災害時の動物の救護』について学びたいと思います。

参加対象者

新潟県内の動物医療関係者（開業獣医師・動物看護職・動物看護学生）、新潟県獣医師会会員、新潟県民等で 200 名予定

阿部先生は基調講演とする。遠山先生のタイトルは中越地震に変更をお願いする。時間配分については今後も検討する。中部学会までにチラシを作成し配布する。

(2) 第 3 回講習会および動物看護師セミナーについて

平成 28 年 1 月 10 日（日）新潟東映ホテル 獣医師セミナーは東大の松木先生、動物看護師セミナーは星先生

(3) 小動物臨床部会 規約の改正について

第 5 条監査員の選出について、会員の分布を考慮して新潟市 1 名、新潟市以外 1 名にしたかどうか。第 6 条幹事について、現在は存在していないのでどうするか。部会内の委員会設置について。といった意見があったが、規約の改正については必要ないとの意見もあり、今後も検討を続ける。

(4) 小動物臨床部会 委員会の設置について

小動物開業が関連している公益的事業等について、小動物臨床部会でも情報を共有すべき。その中で学校飼育動物、狂犬病、野生傷病鳥獣保護、身体障害者補助犬、災害時動物救護については県獣に委員会があるため、委員会にオブザーバーとして部会役員が出席し、小動物臨床部会役員会において情報を報告する。部会役員で各委員会の委員に重複している場合は、なるべくその先生をお願いする。動物看護師と人と動物の共通感染症については、県獣に委員会がないため小動物臨床部会内でそれぞれ副部会長が担当し、情報収集、発信を行っていく。

(5) 平成 27 年度日本獣医師会学術学会年次大会(秋田)での部会アンケートの報告について

小嶋部会長が発表予定。連名について小嶋部会長、鈴木副部会長、川島副部会長、加藤先生ともう 2 名とする。

(6) 中部地区獣医師大会・獣医学術中部地区学会への参加動員と動物看護師セミナーについて

動物看護師セミナーの参加者は現状では 120 名。

(7) 第 3 回役員会の日程について

県民公開講座と同日で、11 時から 12 時で予定する。

(8) 各地域の情報交換

放射線従事者に対する教育訓練の希望について、小動物臨床部会としては小動物病院関係者向けに坂大先生等を講師として行っていきたい

(9) その他

① 宮川副会長より

県獣からの情報提供として、栗島の野猫が天然記念物のオオミズナギドリのヒナを襲い被害が出ているため、野猫の不妊手術の依頼があり、楠原会長、宮川副会長、増谷専務、長岡科学技術大学の山本先生で視察を行った。その際県獣、長岡技術科学大学、栗島浦村の3者で話し合いを行い、栗島浦村で猫に関する条例を作り、現地で不妊手術を行う方向になった。狂犬病推進委員会より狂犬病予防接種の個別注射で犬の死亡事故がおきたとの報告があった。

② 昨年講習会でお招きした岐阜大の丸尾先生が実施するプロジェクトについての協力依頼があり、中部学会参加者に丸尾先生のブースへの誘導、パンフレットの配布を行う。

閉 会